

# 週 報

1988年12月25日 降誕日主日  
降誕日(クリスマス)

巻 9 39号

1988年度教会主題

「真理の御言に聴き、従う」

あなたの御言は真理であります。あなたがわたしを世につかわされたように、わたしも彼らを世につかわしました。また彼らが真理によって聖別されるように、彼らのためわたし自身を聖別いたします。

ヨハネによる福音書17章17節b-19節

日本キリスト教団 **横浜港南台教会**

会 堂 〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

☎ 045-833-5323

振替 横浜 9-13394

牧師宅 〒235 横浜市磯子区洋光台 5丁目-6-3-304

☎ 045-833-6616

牧師 **秋 吉 隆 彦**

国会で行った講演を読み直し、改めて感銘を受けた。大統領はこう述べている。「罪責があろうがなかろうが、年を取っていようが若かりうが、われわれすべてこの過去を引受けなければなりません。この過去のもたらした結果が、われわれすべての者を打ち、この過去にかかずらわれないわけにはいかなくなっているのです。(中略)過去をあとから変更したりなかったことにすることはできないのです。しかし、過去に対して目を閉じる者は、現在に対しても目を閉じるのであります。かつての非人間的な事柄を思い起こしたくないとする者は、新しく起こる罪の伝染力に負けてしまうものなのであります。」

日本の現代史は、欧米の植民地化を脱するため富国強兵政策を突っ走り、昭和20年に惨敗した。この間の内外での悲惨を直視しなければ世界に貢献する日本はあり得ない。天皇フィーバーに心が痛む。力の原理を排した「まぶね」の幼子イエスに私は光を見る。

## —牧師室より—

インドのデリー大学教授、サヴィトリ・ヴィシュワナタン氏は「日本は経済的には大変な自信を持っているようだけど、本当に自信があるなら自分の歴史を省みることができなければならないでしょう。また若い世代にもそれをきちんと教えなければならないはずです」と語っている。これを見て、私は西ドイツのヴァイツゼッカー大統領が敗戦後40周年記念日に